

いわさ民報

発行所
いわさ民報社
中市田町一丁目電話三八一
編集兼発行人 千輝克巳
印刷 関人 を除く
日刊 但月曜 を除く
定価 一月八円 一月四角

最高點は關内正一氏

第二區開票結果

二旬半にわたりあらゆる努力、秘術をかたむけつゝして演三郡下を闘い抜いた十一候補の運命をひめた玉手箱は二十五日正午後六時に投票を締切ると同時に全七時から市郡下とも一齋に閉函した、かくて十時半の終了を筆頭に逐次開票は進められ二十日午前一時四十分一市三郡下完全に終了し、關内正一氏の最高點は豫想通りながら、前後七回の政戦にいつも苦根をなめていた齋藤氏は選挙民の大きな同情を獲得して全然豫想下馬評を一蹴して第二位で終始他候補を際倒し、第三位を最後まで小澤専七郎、松井政吉、宗像孝三の三氏で争い豫断を許さず興味をひいたが、結局小澤氏が浮び上つて左の如き戦績を示し、その黨派別は自由黨、民主黨、養正會各一名の振合となり社會黨は遂に一名も獲得し得なかつた

- | | | | |
|-----------|-------|----|----------|
| 當選四〇、九七七票 | 關内 正一 | 51 | (自由黨新) |
| 同 三〇、七〇八票 | 齋藤 晃 | 46 | (養正會新) |
| 同 二四、八一三票 | 小澤専七郎 | 43 | (民主黨新) |
| 次點 二、八一三票 | 松井 政吉 | 41 | (社會黨新) |
| 一八、一四八票 | 宗像 孝三 | 64 | (民主黨新) |
| 一三、三〇二票 | 高木 松吉 | 50 | (自由黨新) |
| 一〇、一三〇票 | 大井川幸隆 | 40 | (社會黨新) |
| 七、一六二票 | 鈴木 傳明 | 48 | (無所属新) |
| 三、三八一票 | 大井川五郎 | 39 | (民主黨新) |
| 三、二四四票 | 志賀 重義 | 43 | (共產黨新) |
| 二、〇八八票 | 新妻清一郎 | 58 | (佛教社會黨新) |

第一區開票結果(定員五名)

當選五三、二二八	中野 寅吉	69	(自前)
同 三八、一五五	鈴木 義男	54	(社前)
同 三六、七二七	林 平馬	65	(民前)
同 二五、二四七	山下 春江	47	(民前)
同 一六、〇八五	圓谷 光衛	59	(自前)
次點 一五、四五四	大和田義榮	49	(自新)

郡市別得票表

候補者氏名	平市	石城郡	双葉郡	相馬郡	合計
關内 正一	二、一八二	二、〇〇〇	一、五〇二	三、二七四	九、九五八
齋藤 晃	一、七〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	一、六〇〇	五、五〇〇
小澤専七郎	一、五〇〇	一、三〇〇	一、一〇〇	一、四〇〇	五、三〇〇
松井 政吉	一、〇〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	一、一〇〇	四、五〇〇
宗像 孝三	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
高木 松吉	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
大井川幸隆	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
鈴木 傳明	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
大井川五郎	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
志賀 重義	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
新妻清一郎	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、〇〇〇
計	三、一八二	三、〇〇〇	二、五〇二	三、二七四	一二、〇五八

殊勳の齋藤氏

戦のあとを顧みる

四月選挙のヤマ一衆議を寄せた結果、小澤氏院選挙も遂に終幕となつた。三位當選はやゝ氏とつた、戦のあとを顧みしてはもの足らぬもの、とき、萬感交々選挙民があるう、當選確實を胸中を去來するものうたれた松井氏が破があるう、二位の齋藤氏は大井川幸隆氏を一萬票も大きく引と共に社會黨の票の食きはなして最高點の榮い合ひとなつたのに、冠を獲得した關内氏はきな因があるうが一面前回の惜敗と小澤氏はきな因があるうが一面出馬で俄然苦境に立つの支持が幾分うすくなつたのにもよるもの、情をひいたのと氏の生一本の正直さとその人格をかかれたもの一般の世評を見事覆して見事二位で堂々當選した齋藤氏は前後七回選挙は昨年選挙結果に上して居る不斷の努力に選挙民が心からの同情られよう

- ### 第一區開票結果(定員四名)
- | | | | |
|-----------|-------|----|------|
| 當選六六、七三二 | 八百板 正 | 43 | (社新) |
| 同 三四、三〇三 | 大内 一郎 | 57 | (自前) |
| 同 二五、五三一 | 原 孝吉 | 64 | (民新) |
| 同 一四、六九九 | 柳原 千代 | 50 | (社前) |
| 次點 一二、四二八 | 柳沼澤介 | 60 | (民新) |

マツチは増配

一人一日六本宛に

マツチが本月から増配人で二割六分五厘で男
されます。二十一年度の方が好成績であつた
のマツチは一人當り一
日四本の割であつたが
二十二年度の生産計画
は商工省で三十萬五千
キロと決定したので本
月から一人一日六本と
二本の増配と決定した

第三區の 棄権

われらの代議士は三區
内では石城郡の開ひよ
うを最後にそれ、わ
れらの前に現はれた、
三區内平および石城、
双葉、相馬一市三郡の
有権者總数は二十六萬
七十九人で有効投票ひ
う總数が十八萬七百三
十四ひよう、無効投票ひ
うが四千八百八ひよ
うで棄権は七萬五千二
百五十七ひようで二割
八分九厘強大であつた

三氏供託金 没収

法定得票は
五、九二二票
落選組のうち大井川五
郎、志賀重義、新妻清
一郎の三氏は法定得票
に達しなかつたため遂
に供託金二千圓没収の
變目にあることに決し
た、なお第三區の法定
得票は五千九百二十二
票である

市郡棄権率

一割二分強
衆議院せん擧の平市お
よび石城郡の投票總數
は有権者
◎平市一萬六千二百
四十六人 ◎石城郡
十三萬五千二人
計十五萬二千二百四十八
人に對して
◎平市一萬三千三百
十四ひよう
◎石城郡九萬九千九
十五ひよう
計十二萬二千四百二十
九ひようで郡市の棄権
率は二割二分強、男女
別では男五萬三千九十
三人で、割七分七厘、
女四萬八千九百五十四

無効投票票 書違の多い

平市および石城郡の無
効投票票は
▲平市百三十二票
▲石城郡二千七百十
計理士。税務代理士
桑原トオル
電話(平)815

六票 で、計二千八百四十八

票といふ相當な數で例
によつて(わたしのえ
らぶ人材なし)など、
云つたものや、三、四名
の候補者を列記したも
の或は市會議員候補者
の名前を書き入れたも
のなどがあつたが、大
部分は三名連記の投票
用紙を書きちがえたも
のだつた

宮城清掃 奉仕

豊間町民が
豊間町民は二十六日か
ら二十九日にかけて宮
城の清掃を奉仕するこ
とが差許された

一 本店
義本
野水
小野
電話小念漢6番

増設 平授産所

一兩日に竣工
工費十八萬圓を投下
た市の授産所増設はそ
の後工事が進しよう、
二十七、八日頃竣工の
運びとなつた、同授産
所は總建坪の二階建て
木工、小家具製作をモ
ットに拍車をかける

列車延長

二十五日から旅客列車
の一部増設延長が行は
れるが常磐線關係では
上野原町間の二三三列
車(平十六時四十九分
後)が上野仙台間に、
原の町上野間の二三三
列車(平十四時十分後)
が仙台上野間に延長
された

婦人子供服調製

春夏洋装は當店へ
各種スタイルで迅速に
林洋装店
平市七丁目(熱心湯筋向い)
◎各種更生仕立も申受けます◎

近火御見舞御禮

平市長橋町
吉健鐵工所
吉野健助

近火御見舞御禮

平市堂ノ前
平製作所
稲島昌

断線電球更生

ハッピーライト使用
断線電球更生
口金修理
化粧品洋品
本待ちになる間に修理致します
雑貨の店
谷屋
平市新川町電話三七番

平の火事

二十六日午後 時半頃
市内堂根町邊鈴木定吉
さん(六九)方から發火住
家三戸二むね、非住家
二むねを全焼住家一む
ね一戸を半焼し同二時
頃鎮火した原因は鶏舎
保温器の火の不始末損
害一萬圓

麻雀

平一丁目集樂館裏
市農委會
市農地委員會では二十
六日午後一時から公會
堂日本間に開き土地幹
旋申出、其の他につき
協議した

募集さん婦人給仕
喫茶店
スビス
工本町

各種自動車用
ヘッドライトレンズ
代理店募集
マスタヤ商店
蛭田利光
平市長橋町40電話平15番
製造所旭レンズ會社
東北一季代理店

カメと
寫真材料
タカサワ
平。51